

指定管理者のモニタリングシート

1. 基本情報

確認年月日:令和7年12月5日

施設名	盛岡市立乙部老人福祉センター		
住所	盛岡市乙部28-34-5		
指定管理者名	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団	所管課名	長寿社会課
指定管理料(年額)	8,453,000円		
今回確認期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 12 月 5 日 まで (7 ヶ月間)		

2. 業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績(令和7年4月1日から令和7年10月31日)

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360 日	214 日(7 ヶ月)
延べ利用者数	個人	552 人	380 人
	団体	2901 人	2314 人
主要事業開催回数	老人福祉センター主催講座	6 回	2 回
		回	回
		回	回
		回	回
		回	回

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について、適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適・要改善

3. サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
要望	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4. 指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

- ・老人福祉施設との連携が図られるなど、高齢者向け施設であることを十分理解し、適切な運営が図られている。
- ・出勤後及び帰宅前に施設内外の目視点検を行い、利用者が施設を安心して利用できるよう心がけている。
- ・各地区の公民館的役割も果たしており地域に密着した施設となっている。
- ・地域関連団体と緊密な連携を図り地域福祉に寄与している。・町内会回覧を実施し、利用の促進に努めている。
- ・警察との情報交換を充実し、詐欺被害防止や交通安全を図っている。
- ・常に利用団体・利用者様の作品展示を行い明るい環境でお迎えしております。
- ・利用団体による作品展示・コーラス・フラダンス等の発表会を開催するなど地域とのコミュニケーション作りにも取り組みました。
- ・今年度初めての試みとして、センターで職員が得意とする分野で指導するクラブ活動や出張講座を行いました。
- ・小学校の福祉の授業や地域高齢者のお茶っこの会に出向き、交流を深めました。

5. モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
利用団体・利用者様もコロナ禍前より増加し、より活発に活動が行われておりますが、今年度の主催講座が年度後半に集中したことで10月までには2回の開催となった。しかしながら、いずれの講座も人気があり、参加人数も多く、大変好評です。 今後もマンネリ化させずに利用者様に喜んで頂けるような企画作りに努めて参ります。	各項目において適切な管理運営が行われていることが確認できた。職員自らが指導するクラブ活動を開催するなど積極的な事業開催に努めるほか、地域に根差した施設として小学校と連携し世代交流の場づくりに取り組むなど工夫した運営が確認できた。また、利用者が使いやすいよう配慮した環境整備を行い、利便性向上に向けた工夫に努めている。今後も高齢者等の生きがい活動等のの拠点として、適正な管理運営に努めていただきたい。